

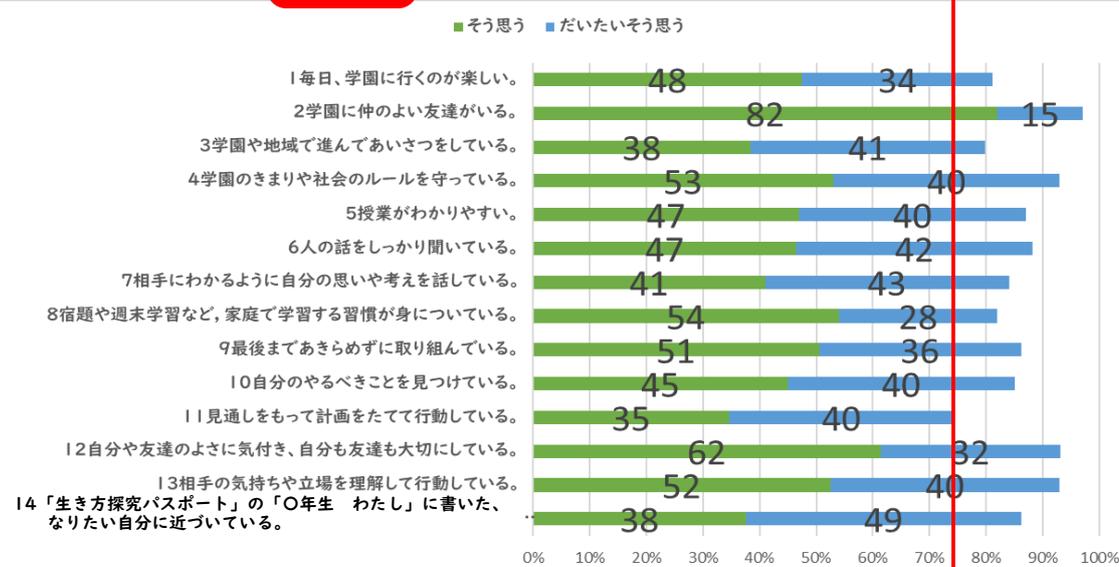
後期学園評価アンケート結果

令和8年
1月実施

学園生

適合度

基準ライン



結果の見方について

・学園生は一人一台の端末を活用し、アンケートフォームから回答しました。保護者の皆様はお持ちの端末で回答していただきました。
・肯定的な回答のみ(横棒グラフの左から「そう思う」「だいたいそう思う」の順)をグラフ化し、75%を達成の基準としています。

結果をもとにした考察

<設問11>

これまで、凌風学園では、「凌風コンパス」や「週予定表」を活用して、自分の予定を見える化し、見通しをもって計画をたてて生活できるように取り組んでいます。そのことで学園生の意識は少しずつですが高まってきています。一朝一夕に身に付く力ではありません。今後も、学習、生活の両面から、長期的な視点をもって、この力を養っていくことを大切に、取組を進めていきます。

<設問2・12>

これまでも肯定的な回答が高い項目です。友達を大切に、仲間と一緒に過ごすことができていく学園生が多くなっています。義務教育学校9年間の生活を充実したものにできるように、今後も支えていきたいと思っています。

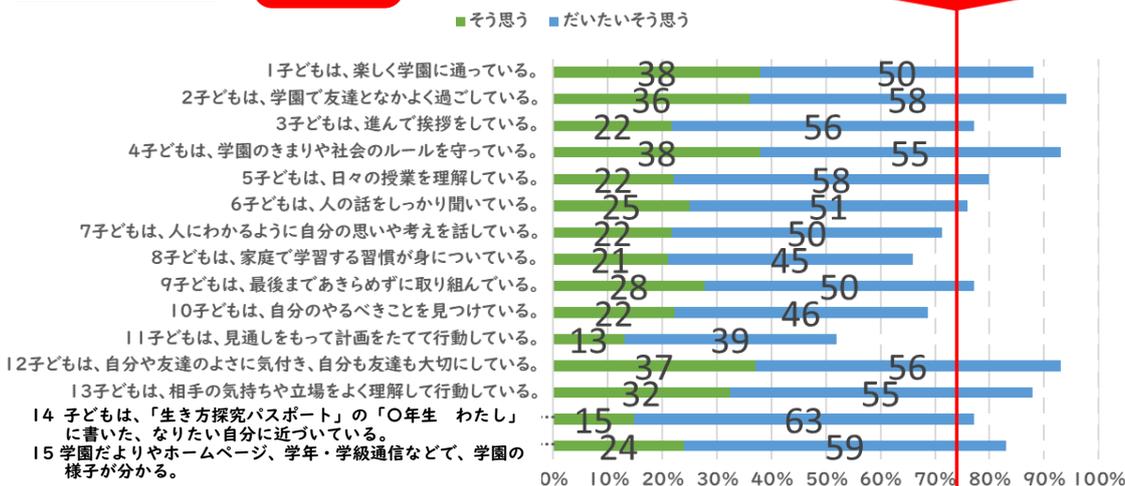
<設問3・8>

家庭学習や挨拶の項目は、学園生と比較してみると、保護者と教職員は課題があるとされています。家庭や地域社会で生きていくために大切なこれらの資質や力を、学園生自身も意識して身に付けていけるようにする必要があります。

保護者

適合度

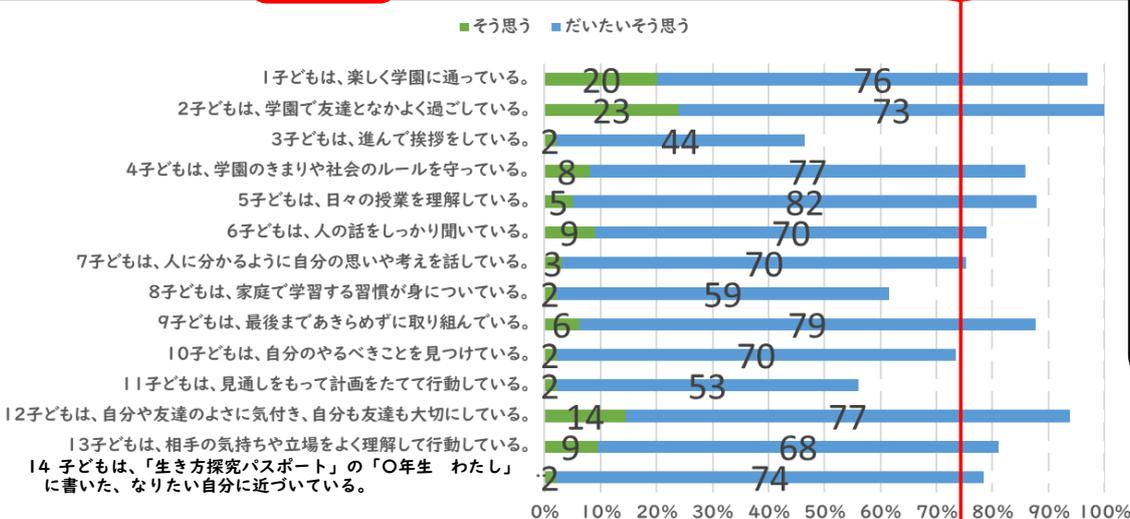
基準ライン



教職員

適合度

基準ライン



お忙しい中アンケートにご協力をいただきありがとうございました。中に、保護者の方から、「『生き方探究パスポート』のことを保護者が意識する機会が少ない。」というお声がありました。2020年4月から全国の小学校・中学校・高等学校で導入された「キャリア・パスポート」を、京都市では「生き方探究パスポート」とよんでいます。子どもたちが、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたものです。年度初めに家庭に持ち帰っておうちの方からのコメントをいただく機会をとっています。ご家庭でのお子たちとの話題のきっかけにいただき、お子たちの学びや成長を感じていただけるとありがたいです。今後も、家庭・学校・地域が同じ目標をもって進んでいきますように、ご理解、ご協力、よろしくお願いたします。